

令和3（2021）年度第2回栃木県無人自動運転移動サービス推進協議会  
議事概要

- 1 開催日時 令和3（2021）年11月2日（火）9:00～9:40
- 2 会議形式 オンラインによるWeb会議（県庁本館6階大会議室2）
- 3 出席者 委員：9人（うち代理1人）、オブザーバー：4人（うち代理2人）

4 議 事

○ 小山市における実証実験の実施概要について

資料に基づき、事務局が小山市における実証実験の実施概要について説明し、委員から今後準備を進める上での留意点等について意見を頂いた。

《委員からの主な意見等》

- ・ 今回の運行ルートは、ロータリー、交差点等、複雑な箇所も多い。実験車両はそこまで新しいものではないと思うが、手動介入はどの程度まで想定しているのか。【委員】
  - 自動運転と手動運転の設定の詳細については、現在検討中であるが、路車協調を行う箇所以外の交差点は、手動介入を予定している。詳細については、関係機関等と協議を行っていく。【事務局】
- ・ 交通量がかなり多いと思うが、周辺交通の支障にならないか。バス停の数も多いが、停車や発車の際には、かなり遅い挙動になる。【委員】
  - 現地の交通量、停車や発車による周辺交通への影響等については、今後県警と現地を確認しながら、詳細を詰めていきたい。【事務局】
- ・ 交通量が多いため、しっかりと現場を確認したい。安全面に配慮して準備を行うことが重要である。【オブザーバー】
- ・ 今回の実験では、走行速度が時速40kmを想定している中で、1車線の中でバスの停車や発車を行うことになることから、後続車への影響を注意深く見ていく必要がある。【オブザーバー】
- ・ 大学キャンパス入口付近の交差点では、センサを活用して歩行者や車両を検知するということがだが、実際にスムーズに進入できるのか、具体的にどのようなセンサを使用するのかなど、よく確認したい。【オブザーバー】
- ・ 今回の実験では、バス停が多く、乗客も多いと思う。地元のプロドライバーを運転手とすることによって、ドライバーの視点から問題提起してもらうことが期待できる。【委員】
  - 今回の運行ルートでは、スクールバスを含め4社が運行している。今回の実験でも、可能な限り運転手として協力をお願いしたい。もし難しい場合には、試乗の機会を設けること等を検討していきたい。【事務局】

- ・ ①～③のユースケースが挙げられているが、今回の実験では①を想定しているということか。②や③を記載した意図を教えてください。【委員】

→ 今回の実験では、①～③全てを想定している。①の学生利用のニーズに加えて、周辺住民が市街地に出かける際の②のニーズ、また、バス停を多く設置することで、市街地内における短区間利用の③のニーズについても探っていきたい。【事務局】
- ・ 今回は無償で運行を行う計画であるが、ユースケースの①は無償のスクールバスへの対応であるのに対し、ユースケースの②や③は有償の既存路線バスでカバーしているニーズである。②や③については、将来的に有償運行を想定しているということか。また、ABCプロジェクトで最終的に目指すのは、有償での実装ということで良いのか確認したい。【委員】

→ ABCプロジェクトでは、有償運行での実装を目指す方針に変更はない。今回の実証実験では、自動運転自体に多くの人に親んでもらうことを意識し、無償としている。その中で、②や③の可能性や課題を洗い出し、将来的にどのような実装が可能か検証していきたい。【事務局】
- ・ ユースケースの②や③について実装する際には、事業者への配慮をお願いしたい。【委員】
- ・ LINE 定期券を活用した取組は有効だと思うが、現在の検討状況について教えてください。【委員】

→ 詳細は今後検討していくが、個人情報の取扱いには一定の制限があることから、LINE のトーク機能による実験の PR やアンケート調査の呼びかけへの活用等を中心に想定している。LINE 定期券以外にも既存の取組についてどのような活用が可能か、小山市と引き続き調整していく。【事務局】
- ・ 今回の実験は、期待も大きい。小山駅周辺には様々な人が集まるので、そうした方々、将来を担う若い学生等、多くの方に乗車していただき、思川沿い、まちなか等を楽しんでほしい。また、小山駅の駅前広場は、昭和 57 年の新幹線開業時からほぼ変わっていないので、自動運転バスが走行する際の課題抽出が必要と考えている。【小山市】
- ・ 県内では PTPS（公共車両優先システム）を利用した交差点が 1 か所存在するが、ABCプロジェクトの実証実験において、今後 PTPS を導入する考えはあるのか。【委員】

→ ABCプロジェクトの中では実施の予定はない。取り組みたいところではあるが、手続や調整に時間を要するため、実施は難しい。【事務局】